

栽培漁業基本計画の沿革

計画期間	第1次 昭和58～昭和62			第2次 昭和63～平成5			第3次 平成6～平成11			第4次 平成12～平成16			第5次 平成17～平成21			第6次 平成22～平成26			第7次 平成27～平成33		
水産動物の放流数の目標	マダイ	700千尾	(30mm)	マダイ	780千尾	(30mm)	マダイ	820千尾	(60mm)	マダイ	840千尾	(60mm)	マダイ	940千尾	(60mm)	マダイ	940千尾	(60mm)	マダイ	1,000千尾	(60mm)
	ヒラメ	300千尾	(30mm)	ヒラメ	340千尾	(30mm)	ヒラメ	280千尾	(100mm)	ヒラメ	600千尾	(100mm)	ヒラメ	810千尾	(80mm)	ヒラメ	880千尾	(80mm)	ヒラメ	940千尾	(80mm)
技術開発水準の到達目標	スズキ	200千尾	(25mm)	スズキ	200千尾	(25mm)	スズキ	90千尾	(50mm)	スズキ	90千尾	(50mm)	スズキ	90千尾	(50mm)	スズキ	90千尾	(50mm)	スズキ	90千尾	(50mm)
	クロダイ	300千尾	(20mm)	クロダイ	300千尾	(20mm)	クロダイ	230千尾	(50mm)	クロダイ	230千尾	(50mm)	クロダイ	230千尾	(50mm)	クロダイ	230千尾	(50mm)	クロダイ	230千尾	(50mm)
技術開発上の問題点(共通課題)	マコガレイ	500千尾	(15mm)	マコガレイ	500千尾	(15mm)	マコガレイ	230千尾	(40mm)	マコガレイ	460千尾	(40mm)	マコガレイ	460千尾	(40mm)	マコガレイ	460千尾	(40mm)	マコガレイ	460千尾	(40mm)
	アワビ	1,400千個	(20mm)	アワビ	1,600千個	(25mm)	アワビ	2,100千個	(25mm)	アワビ	2,000千個	(25mm)	アワビ	1,600千個	(25mm)	アワビ	1,600千個	(25mm)	アワビ	1,600千個	(25mm)
主な事柄	カルマエビ	6,000千尾	(20mm)	カルマエビ	6,000千尾	(22mm)	カルマエビ	6,000千尾	(22mm)	カルマエビ	6,000千尾	(30mm)	カルマエビ	6,000千尾	(30mm)	カルマエビ	6,000千尾	(30mm)	カルマエビ	6,000千尾	(30mm)
	ガザミ	3,000千尾	(5mm)	ガザミ	3,000千尾	(5mm)	ガザミ	600千尾	(10mm)	ガザミ	600千尾	(10mm)	ガザミ	600千尾	(10mm)	ガザミ	600千尾	(10mm)	ガザミ	600千尾	(10mm)

○技術開発段階の分類

- |        |                        |                            |                                |                              |                               |                          |
|--------|------------------------|----------------------------|--------------------------------|------------------------------|-------------------------------|--------------------------|
| 1～3次計画 | A = 新技術開発期<br>(基礎技術開発) | B1 = 量産技術開発第一期<br>(量産技術開発) | B2 = 量産技術開発第二期<br>(大量放流の実施)    | C = 事業化実証期<br>(経済的成立実証)      | D = 事業実施時期<br>(漁業者負担による経済的成立) |                          |
| 4～7次計画 | A = 新技術開発期<br>(基礎技術開発) | B = 量産技術開発期<br>(量産技術開発)    | C = 放流技術開発期<br>(量産技術改良・放流手法検討) | D = 事業化検討期<br>(資源に応じた放流数量検討) | E = 事業化実証期<br>(経費節減・経費負担検討)   | F = 事業実施期<br>(持続的栽培漁業成立) |